

参考様式B5(自己評価等関係)

公表

放課後等ディサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	サクラサクラ放課後等ディサービスセンター			
○保護者評価実施期間	2025.11.1 ~ 2025.11.25			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025.11.1 ~ 2025.11.25			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	亀山市で唯一の重度心身障がい児に特化した放課後等ディサービスとして14年間運営しており、看護師・リハ職員を配置し、医療的ケアに確実に対応できる体制を整えている。	利用児の状態変化を看護師と支援員が常時共有し、必要時は主治医や在宅診療医と迅速に連携するなど、医療と福祉の垣根を越えた安全管理を徹底している。	重度化・医療依存度の高い児童にも対応できるよう、医療的ケア研修を継続し、職員全体のスキルアップを進める。
2	地域の病院・診療所・訪問看護等と長年信頼関係を築いており、緊急時や体調変化時にも安心して相談・連携できる体制が確立している。	医師や医療スタッフから助言を受けやすい環境を整え、個々の児童の状態に基づいた個別支援計画に反映している。	連携医療機関との情報交換会を継続し、より高度な医療的ケアへの対応や地域支援体制の強化を図る。
3	子どもの気持ちに寄り添った関わりを大切にし、安心して過ごせる環境づくりを長年継続してきたことが保護者からも高く評価されている。	子どもの反応を丁寧に観察し、活動量・休憩のタイミング・関わり方を調整するなど、個々に合った関わりを行っている。	より多様なコミュニケーション手段（視覚的支援等）の導入を検討し、子どもの安心感・自己表現が高まる環境づくりを進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	感染症対策のため、地域の他事業所・児童館等との交流を控えており、活動範囲が制限されている。	外部交流を行わなくとも子どもが楽しめるよう、季節行事や屋内活動を工夫して幅を持たせている。	感染状況や個々の体調に配慮しつつ、少人数・短時間での交流やオンライン等、負担の少ない形での参加方法を検討する。
2	顔出しNGの児童が多いため、SNS等の広報活動ができず、活動内容を外部に周知しづらい。	写真を使用しない活動報告や、個別連絡・紙媒体での通信を通じて保護者との情報共有を行っている。	SNSに依らない広報方法（事業所通信の充実や説明会等）を検討し、地域への理解と周知を促す。
3	第三者委員会の設置は現状なく、公的な外部評価の体制は未整備である。	苦情受付体制を事業所内で明確化し、保護者からの意見が出しやすいよう丁寧な説明と聞き取りを行っている。	第三者評価機関の活用や外部支援者との連携を検討し、より中立的な視点での改善につなげる。